

事例 8 様々な学習方法を用いて、多面的・多角的な視点から自らの消費行動を考える事例

○学年 第2学年

○主な領域 内容「C消費生活・環境」 (1)「金銭の管理と購入」アイ
(2)「消費者の権利と責任」アイ

○事例のポイント

- ①ジグソー法やロールプレイング、パフォーマンス課題など、様々な学習方法を用いることで、多面的・多角的な視点から自分の消費行動について考えさせる。
- ②振り返りシート（学習の足跡）を活用し、題材の前後の変容を見取るとともに、学習のまとめごとに自分の生活や持続可能な社会の構築との関わりについて考えさせる。
- ③ICTを活用し、短時間で情報収集や情報共有を行い、学びを深めることに役立てる。

2 題材について

(1) 生徒について（略）

(2) 題材について

本題材は、「C消費生活・環境」(1)(2)ア及びイの関連を図っている。題材の始めに、自分の生活を想起し、物資・サービスの選択・購入や消費行動について問題を見いだして課題を設定し、金銭管理と購入に関わる知識及び技能を身に付けるとともに、課題を解決する力や、自立した消費者としての責任ある消費行動を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしている。

販売方法の多様化やキャッシュレス化の進行に伴い、中学生においてもインターネットで商品を購入したり、スマートフォンやカードを使った支払いをしたりすることが当たり前になってきている。そのため、具体的な事例を通して購入方法や支払い方法の特徴を理解し、適切な方法を選択する力を身に付けさせる。さらに、多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理の必要性について扱い、高等学校における長期的な経済計画や家計収支等に関する学習につなげる。

また、2022年より成年年齢が引き下げられ、18歳になると保護者の同意を得なくても自分の意思で様々な契約ができるようになった。しかし、未成年者取消権の行使ができなくなり、消費者被害の低年齢化が課題となっている。そのため、本題材の学習を行い、あと数年で成年を迎える生徒に、「自ら考え自ら行動する」自立した消費者としての自覚をもたせたい。

編 P126 指導計画
作成の留意事項(3)

(3) 指導について

消費者トラブルについて、新聞記事を利用したり、DVDを視聴したり、模擬家族の事例を取り上げたりするなど身近な問題として捉えさせ、中学生であっても消費者としての自覚をもち、責任ある行動をする必要があることに気付かせる学習内容となっている。また、多面的・多角的な視点が得られるように、ジグソー法を用いたりグループでパフォーマンス課題に取り組んだりするなどして、互いに学び合う対話的な場面の設定を行い、実生活に生かすことができる深い学びの実現ができる指導を行う。その際、ICTを活用して、生徒の思考の過程や結果を可視化したり、互いの考えを瞬時に共有化したり、必要な情報を収集・整理し、発表したりさせる。さらに、専門家の視点から中学生に必要なことをアドバイスしてもらえるように、ゲストティーチャーとして消費生活センター等から講師を招聘する。

また、題材を通して振り返りシート（学習の足跡）を活用する。題材を貫く問いを設定し、題材の最初と最後に自分の考えを記述させ、学習による変容を見取る。振り返りの時間には、学習から分かったことや生活に生かせることを記録させ、学びの高まりを生徒自身に実感させたい。

編 P126 指導計画
作成の留意事項(4)

このような活動を通して、自分の消費行動が持続可能な社会の構築に大きく関わることに気付かせるとともに、消費者市民社会の担い手としての生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成していく。

3 題材の目標

- (1) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 〈知識及び技能〉
- (2) 物資・サービス・支払い方法の選択や購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	物資・サービスの購入や支払い方法、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入や、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

5 題材の指導と評価の計画（8時間扱い）

小 題 材	時 間	○ねらい・学習活動	評価規準と評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自 分 の 消 費 生 活	1	○自分や家族の消費生活について問題を見だし、課題を設定することができる。 ・自分の生活に必要な物資・サービスの購入についてニーズとウォンツの視点で考え、本当に必要な物かどうかを話し合う。 ・自分の消費生活の課題を設定する。		①物資・サービス・支払い方法の選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ・ワークシート	①金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・学習の足跡 ・ワークシート
多 様 な		○売買契約の仕組みや多様化した購入方法や支払方法の特徴について理解することができるとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理し、情報を活用して購入に	①売買契約の仕組み、購入方法の特徴について理解してい		

支払い方法に応じた計画的な金銭管理	2	<p>ついて考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の購入場面(DVD)やおばあちゃん宅への訪問販売(新聞記事)から、購入方法の特徴についてまとめ、それぞれの利点と問題点を話し合う。また、売買契約を行うときの注意点を発表し合う。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 		
	3 4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム機の購入場面について、支払い方法(前払い・即時払い・後払い)の違いによる特徴や、キャッシュレス決済の利点や問題点をグループで話し合い発表する。 	<p>②支払い方法の特徴について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オクリンカード ・ジグソー活動 	<p>②物資・サービス、支払い方法の選択・購入、自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オクリンカード ・発表 ・ワークシート 	<p>②金銭の管理と購入について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡 ・ワークシート ・行動観察
商品の選択・購入	5	<p>○多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬家族の物資・サービスの購入場面について、購入する優先順位や支払い方法を検討し、各自の考えをグループで交流する。 ・金銭管理についてどのようなことに気を付けたらよいのか、模擬家族へのアドバイスを考え発表し合う。 	<p>③計画的な金銭管理の必要性について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 		
	6 7	<p>○消費者被害の背景とその対応について理解するとともに、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害の事例について、ロールプレイングを行い、被害を回避する方法や適切な対応の仕方について調べ、発表し合う。 ・Tシャツの購入から廃棄までを振り返り、資源や環境への配慮や、社会に及ぼす影響について考え、話し合う。 <p style="text-align: center;">編P126 指導計画作成の留意事項(8)</p>	<p>④消費者被害の背景とその対応について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ペーパーテスト <p>⑤消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	<p>③物資・サービス・支払い方法の選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発表 	<p>③よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入や消費者の権利と責任について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡 ・ワークシート
自立した消費生活	8	<p>○自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題1「祖母が納得するICカードのメリットを盛り込んだアドバイス」 ・パフォーマンス課題2「ワイヤレススピーカーをどのように購入しよう 	<p>⑥物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>⑦消費者の基本的な権利</p>	<p>④物資・サービス・支払い方法の選択・購入、自立した消費者としての消費行動についての課題解決に</p>	

活	<p>か(家電量販店、インターネット、中古)と悩んでいる中学生へのアドバイス」についてグループごとに考え、発表し、意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賢い消費者になるための消費行動をどのように改善していったらよいか、自分の考えをまとめ発表する。 <div data-bbox="311 414 718 548" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>編P126 指導計画 作成の留意事項(2)</p> </div>	と責任について理解している。	<p>向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート 	
---	--	----------------	---	--

6 本時の学習指導（本時 3・4／8）

(1) 目標

- ・支払い方法の特徴について理解している。〈知識及び技能〉
- ・物資・サービス・支払い方法の選択・購入、自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。〈思考力、判断力、表現力等〉

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点（・）評価規準（◇） 【評価の観点】（評価方法） 手立て（→）
5	1 財布の中のカード保有枚数について考える。 ・学習課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と結び付けて考えるとともに、本時の学習への課題を持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習課題 どんな支払い方法がよいだろうか。</p> </div>
20	2 買い物の状況を理解し、どのような支払い方法があるのかを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・Aくんが人気のゲーム機を買いに行くという買い物の例を挙げることで、中学生にとって身近な問題として捉えさせる。 ・クレジットカードの三者間契約についても押さえる。 ・ゲストティーチャーに、支払い方法の特徴や利用時の注意点などについて事例を交えて説明してもらう。
30	3 それぞれの支払い方法について、4カ所に分かれてエキスパート学習をする。 ①資料やICT端末を使い、支払い方法のメリットやデメリットについて情報を集める。 ②情報を整理し、オクリンク(課題の設定や意見の共有ができるソフト)のカードにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)プリペイドカード(2)デビットカード(3)クレジットカード(4)QRコード決済について学習させる。 ・ICT端末を使用し、あらかじめ提示した資料に線を引いたり、資料以外の情報を集めたりさせる。 ・エキスパート同士で情報について話し合い、1枚のカードにまとめさせる。 ・ジグソー学習で伝える時に、分かりやすくなるように、短い言葉でまとめさせる。 ・4つに分かれたエキスパート学習の場面で、ゲストティーチャーとともにアドバイスを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事例のポイント① 学習方法の工夫:エキスパート学習、ジグソー活動を行う。ジグソー活動で情報を伝えたり、聞いたりすることで知識の定着を図る。また、様々な支払い方法の特徴について知ること、多面的・多角的な視点から課題について考えることができるようにさせる。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>
10	4 ジグソー活動により情報を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクのカードを送り合い、カードを見ながら伝え合うことで、情報を分かりやすくする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事例のポイント③ ICTの活用:エキスパート学習でまとめた内容をカードにして送り合うことで、ジグソー学習を短時間で行い、簡単に情報共有することができる。</p> </div>

		<p>◇支払い方法の特徴について理解している。【知識・技能】（オクリンカード、ジグソー活動）</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="513 264 724 517"> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> </td> <td data-bbox="724 264 1428 517"> <p>支払い方法の特徴が分かるとともに、メリットやデメリットについて情報を集めて整理し、カードにまとめることができる。 →情報の中から、重要なキーワードに線を引かせ、重要なものから順番をつけてみるように声をかける。</p> </td> </tr> </table>	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<p>支払い方法の特徴が分かるとともに、メリットやデメリットについて情報を集めて整理し、カードにまとめることができる。 →情報の中から、重要なキーワードに線を引かせ、重要なものから順番をつけてみるように声をかける。</p>
<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<p>支払い方法の特徴が分かるとともに、メリットやデメリットについて情報を集めて整理し、カードにまとめることができる。 →情報の中から、重要なキーワードに線を引かせ、重要なものから順番をつけてみるように声をかける。</p>			
<p>20</p>	<p>5 どのような支払い方法がよいかグループで意見をまとめ、Aくんへのアドバイスとともに発表する。</p> <p>編 P 125 指導計画作成の留意事項(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ支払い方法について、根拠となる理由についても発表させる。 ・アドバイスの中に支払い方法のメリット・デメリットが表現できるように支援する。 ・代表者のカードを使って、グループごとに発表させる。  <p>事例のポイント① 学習方法の工夫：グループでの話し合いは、エキスパート学習やジグソー学習で得た、様々な支払い方法についての知識を活用して、Aくんへのアドバイスを話し合わせる。どの支払い方法がよいか、根拠をもって説明させる。</p>		
		<p>◇物資・サービス・支払い方法の選択・購入、自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。【思考・判断・表現】（オクリンカード、発表、ワークシート）</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="513 1296 724 1550"> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> </td> <td data-bbox="724 1296 1428 1550"> <p>ゲーム機を購入する際の支払い方法について、集めた情報や知識を活用して、Aくんに適した支払い方法を選択し、理由とともにアドバイスを考えることができる。 →ジグソー法で送り合ったカードを見比べさせ、どの支払い方法がよいか考えさせる。</p> </td> </tr> </table>	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<p>ゲーム機を購入する際の支払い方法について、集めた情報や知識を活用して、Aくんに適した支払い方法を選択し、理由とともにアドバイスを考えることができる。 →ジグソー法で送り合ったカードを見比べさせ、どの支払い方法がよいか考えさせる。</p>
<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<p>ゲーム機を購入する際の支払い方法について、集めた情報や知識を活用して、Aくんに適した支払い方法を選択し、理由とともにアドバイスを考えることができる。 →ジグソー法で送り合ったカードを見比べさせ、どの支払い方法がよいか考えさせる。</p>			
<p>10</p>	<p>6 消費生活センターの方の話を聞く。</p> <p>編 P 126 指導計画作成の留意事項(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳成人による生活の変化や、支払い方法の多様化による消費行動への影響などについて話していただく。 <p>編 P 126 指導計画作成の留意事項(2)</p>		
<p>5</p>	<p>7 振り返り「学習の足跡」に、自分の考えを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習や消費生活センターの方の話から、3つのレベル「レベル1：分かったこと・初めて知ったこと・役に立つと思ったこと」 「レベル2：自分でやってみたいと思ったこと」 「レベル3：自分の家族や地域に生かせると思ったこと」に合わせて振り返りをさせる。 		

7 学習評価の具体例

<エキスパート、ジグソー学習時のオクリンクのカード>

START

【QRコード決済】の基本情報 資料4

- お店側が表示するQRコードを自分のスマートフォンのカメラで読み取ったり、自分のスマートフォンの画面に表示されたQRコードをお店の人に読み取ってもらったりすることで代金の支払いができます。
- 各決済サービスに対応したアプリをスマホにインストールして、あらかじめクレジットカードや銀行口座などの情報を登録しておく必要があります。
- QRコード決済アプリをダウンロードして、設定とチャージを行えばすぐに利用できます。

【QRコード決済の種類】

・LINE Pay ・PayPay ・楽天ペイ ・d払い ・メルペイ ・auPAY

【メリット】

- ・スマートフォンのカメラで読み取るだけで支払える
- ・アプリをダウンロードし、設定とチャージを行えばすぐに使える
- ・色々な決済方法があって便利

【デメリット】

- ・それぞれのサービスに対応したアプリをインストールしておかなければならない
- ・クレジットカードや銀行口座が必要になる

【他に伝えたい情報】

- ・クレジットカードを作るには年齢制限があるので注意する。
- ・種類がたくさんあるので、使い方をよく理解する必要がある。

(左) 教師が提示した資料カード (右) 生徒が各自記入したカード

【知識・技能】② ※「十分満足できる」状況 (A) と判断した生徒の具体的な事例

<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホを持っていればいいので楽 ・会計がすぐに終わる ・ポイントが貯まる ・いろいろな支払い方法ができる ・個人間でも送金ができる <p>【他に伝えたい情報】 ・中国が世界トップの普及率 ・利用者側、店側ともに利便性が高いので、ますます普及することが考えられる</p>	<p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使えないお店もある ・クレジットカードなどの登録が必要 → 年齢制限がある ・スマホをなくしたり、忘れると大変 ・種類がありすぎてよくわからない
---	--

教師が提示した資料 (左) に線を引く以外にも、自分で調べた情報や話し合った内容を整理 (右) し、支払い方法のメリットとデメリットを整理してまとめている。また、ジグソー学習において自分がまとめたことを分かりやすく伝えることができていることから、(B) を上回る (A) と判断した。

<ワークシート>

販売方法と支払い方法

1. 販売方法の種類と特徴

	店舗販売	無店舗販売
種類		
特徴		

2. 支払い方法の種類と特徴

方法	① 前もってプリペイドカードや券を買っておき、現金の代わりに使う	② 買おうとする商品と引き換えに、その場で支払う	③ 商品を売りに手に入れ、期日までに一括もしくは分割で支払う
種類			

*次の会話は、Aくんが妹(小学生)と一緒に、以前から欲しくてお小遣いをためて購入しようとしていたゲーム機を買いに来たときのものです。

Aくん: おつ、あった! あった! 欲しかったTwitchにやっとなお出たよ。

妹: がんばってお小遣いを貯めたかいたね。
Aくん: よー! さっそくレジに持って行って買おう!
妹: お兄ちゃん、ちゃんとお金持ってきてくれたでしょう?
Aくん: ー誰かの申告がジグソー
Aくん: マズ!!!!!! お金が100円しか入っていない!!!!
妹: えー!!!!!! そんなあ...
Aくん: でも大丈夫! 僕にはカードやスマホがあるから、それを使って支払おう。

*支払い方法を比べてみよう。情報を集め、整理してオクリンクのカードにまとめよう。

(1) プリペイドカード (2) デビットカード (3) クレジットカード (4) QRコード決済

***あなたはどの支払い方法を選びますか。また、選んだ理由は何ですか。**

支払い方法【 】

理由

***Aくんは、その支払い方法をするときの注意点をアドバイスしてあげよう。**

【思考・判断・表現】②

※「十分満足できる」状況 (A) と判断した生徒の具体的な事例

(理由) プリペイドカードなら、前払いで入金やチャージをするため、使いすぎる心配がないから。また、Aくんが中学生でも比較的安心して使用できるから。

(アドバイス) カードを落とすと他人に使われてしまう危険性があるから、しっかり管理しよう。支払うときに、お金がチャージされていないと購入できないので、計画的にお金を入れておくことが大切だよ。最近では、カードだけでなく、プリペイド式の電子マネーもあるので、上手に活用できるといいね。年齢制限がないので、他の支払い方法に比べて手軽に利用できるよ。

メリットやデメリットをふまえて、起こりうるトラブル等を想定するなどして、Aくんに対し注意点やアドバイスをすることができていることから、(B) を上回る (A) と判断した。

編 P 125 指導計画
作成の留意事項(2)

8 指導の実際

①ジグソー法やロールプレイング、パフォーマンス課題など、様々な学習方法を用いることで、多面的・多角的な視点から自分の消費行動について考えさせる。

編 P125 指導計画
作成の留意事項(2)

題材の終末に、これまでの学習で学んだ知識・技能を活用する、パフォーマンス課題に取り組む。中学生も実際に使用したり購入したりするような事例を扱うことで、自分の消費生活について考えさせるようにする。また、グループで課題に取り組むことで、様々な意見を出し合い、多面的・多角的な視点から考えられるようにする。さらに、アドバイスをさせることで、思考・判断・表現をする場とした。

○パフォーマンス課題1 「祖母が納得するICカードのメリットを盛り込んだアドバイス」

祖母(65歳)は、機械や新しい物が苦手で、電化製品などを購入したときにはいつも母に設定や使い方を教わっています。電車に乗る時も、必ず現金で切符を購入しています。しかし、最近、電車の運賃が見えにくいと困っていました。それを聞いた、あなたは交通系のICカードを持って欲しいと考えました。祖母が納得するように、ICカードについて分かりやすく説明やアドバイスをしてください。

○パフォーマンス課題2 「ワイヤレススピーカーをどのように購入しようか(家電量販店、インターネット、中古)と悩んでいる中学生へのアドバイス」

Aくん(14歳)は、ワイヤレススピーカーを購入するために、お小遣いを貯めてきました。いよいよ買えることになったのですが、どのように購入しようか悩んでいます。家の近くには、家電量販店や中古品を扱うお店があります。また、ずっと欲しかったので、インターネットでもたくさん検索をしました。困っているAくん、どのような購入方法がよいか、メリットやデメリットをふまえてアドバイスしてあげてください。

編 P125 指導計画
作成の留意事項(2)

②振り返りシート(学習の足跡)を活用し、題材の前後の変容を見取るとともに、学習のまとまりごとに自分の生活や持続可能な社会の構築との関わりについて考えさせる。

学習の足跡		今日の学習を振り返って	
日	今日の がんばり度	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
1	/	A・B・C	
2	/	A・B・C	
3	/	A・B・C	
4	/	A・B・C	
5	/	A・B・C	
6	/	A・B・C	
7	/	A・B・C	
8	/	A・B・C	

学習を終えて

【学習前：自分で買い物をするとき、気をつけていることがありますか？】

- ・1つの品に対して、時間をかけてじっくり決めている。
- ・きれいな物を選んでる。

4	11/9	A・B・C	QRコード決済に対応しているお店が最近増えているので、私も使ってみたいと思いました。プリペイドカードなどの誰でも使えるようなカードを使用するときには、絶対に落とさないようにしたいです。
7	12/7	A・B・C	廃棄されている衣服がこんなにあるとは知りませんでした。これからは、本当に欲しい物かどうかをよく考えてから購入し、SDGsの達成に貢献したいです。

【学習後：自分で買い物をするとき、どんなことに気をつけていこうと思いますか？】

買い物の時に、失敗したりトラブルにあったりしないように、今本当に必要な物なのかを考えて買い物をしないとダメなと思った。特に、インターネットを利用して買い物をする時は、ジャドマークがあるかを確認する。ない場合は、クーリング・オフができないので慎重に考えてから買いたいと思った。また、将来大人になってカードを使うようになったら、どのカードが自分と相性がよいかを調べて、上手に買い物をしたいです。

事例のポイント②

振り返りシートの活用：自分の成長の自覚、学びの振り返りができるように記述を積み重ねる。

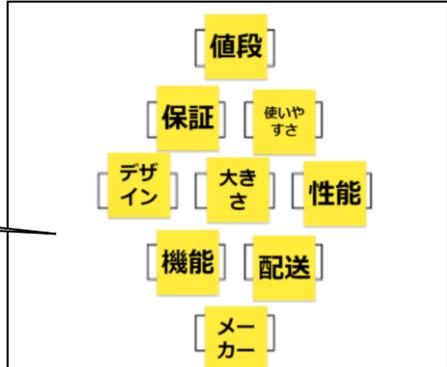
「学習の足跡」として、授業の終末に振り返りを行わせた。振り返りは自己の変容の自覚や、次の学びへの意欲化や動機付けに有効である。活用の仕方として、まず、題材を見通した問いを設定し、題材の最初と最後に自分の考えを記述させた。(例「自分で買い物をする時、気を付けていることがありますか。(どんなことに気を付けていこうと思いますか。)」) 題材終了時に、記述内容に変化があったり、記述量が増えたりすることや、自分の生活と結び付けて考えることができているかなどから見取る。また、毎時間(学習課題が1時間単位でない場合は、課題終了後)、「今日の学習を振り返って」を記述させた。振り返らせる際に、「なんとなく」振り返らせてしまうのでは、学びが深まらないため、振り返りのねらいを決めて行う。本時のねらいや個人の能力に合わせて、3つのレベル「レベル1：分かったこと・初めて知ったこと・役に立つと思ったこと」「レベル2：自分でやってみようと思ったこと」「レベル3：自分の家族や地域に生かせるなと思ったこと」に合わせて振り返りをさせた。「学習の足跡」は、題材ごとに1枚用意し、ファイルの裏表紙に貼らせ、積み重ねている。

③ ICTを活用し、短時間で情報収集や情報共有を行い、学びを深めることに役立てる。



(2/8時間) 売買契約や購入方法についての学習時に、新聞記事の内容を分かりやすくしたものをスライドにして提示した。紙の資料を渡すよりも、短時間で行うことができるだけでなく、生徒の理解度や関心度が高くなった。授業の導入などで用いると、効果的である。

(5/8時間) 購入の優先順位を話し合う時に、ダイヤモンドランキング(シンキングツール)と jamboard(共同作業ができる電子ホワイトボード)を利用し、効果的に意見交流を行い、短時間で意見をまとめ、発表も分かりやすく行うことができる。



(6/8時間) クーリング・オフについて確認する問題の実施。Google Forms(アンケート作成ツール)を使って問題を作成し、Google Classroom(オンライン学習システム)で課題配信を行う。提出と同時に採点結果及び解説が分かるため、生徒のペースに合わせて学習を確認することができる。

クーリング・オフ確認問題
クーリング・オフについて理解できたか、確認してみよう。

第1問 今日、デパートでスカートを買った。家ではいてみると似合わないのので返したい。 10ポイント

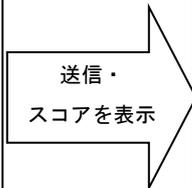
クーリング・オフできる
 クーリング・オフできない

第2問 職場に突然電話があり、資格講座について長時間、勤務された。仕事だったし、早く電話を切りたかったので、仕方なく申し込んでしまった。 10ポイント

クーリング・オフできる
 クーリング・オフできない

第3問 訪問販売で買った、絵画を飾ってみた。しかし、やっぱり気に入らない。1か月後クーリング・オフを申し込んだ。 10ポイント

クーリング・オフできる
 クーリング・オフできない



× 第1問 今日、デパートでスカートを買った。家ではいてみると似合わないのので返したい。 0/10

クーリング・オフできる ×
 クーリング・オフできない

正解
 クーリング・オフできない

フィードバック
自分から買い物に行き、数ある中から積極的に選んで買うのは普通の買い方。クーリング・オフはできない。

✓ 第2問 職場に突然電話があり、資格講座について長時間、勤務された。仕事だったし、早く電話を切りたかったので、仕方なく申し込んでしまった。 10/10

クーリング・オフできる ✓
 クーリング・オフできない

フィードバック
このような場合を電話勧誘販売といい、特定商取引法で、申込み書面または契約書を添